

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

| | | | | |
|----------------|-----------------------|-----|--------|-------------|
| ○事業所名 | 児童発達支援・放課後等デイサービスちえのわ | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年12月29日 | | ～ | 2026年1月10日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 26名 | (回答者数) | 16名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年12月18日 | | ～ | 2025年12月26日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 13名 | (回答者数) | 13名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年1月31日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 職員会議や日常的な情報共有を通じて、支援内容や支援方針について共通認識を持って療育を行っている。 一人の職員に支援を任せきりにするのではなく、チームで児童を支える体制が整っており、支援の質の安定につながっている。 | 定期的に職員会議を実施し、支援内容や支援方針について職員間で話し合う機会を設けている。 意見交換や情報共有を通じて、職員間のコミュニケーションを円滑にし、事業所として共通認識を持って療育の提供につなげている。 | 職員会議や打合せでは、議題や目的を明確にした上で実施する。 個別支援計画や支援事例をもとにした振り返りの時間を設け、支援の根拠や関わり方について職員間で共有・検討する。 職員一人ひとりが意見を出しやすい環境づくりを意識し、経験年数に関わらず発言できる体制を整えることで、チーム全体での支援力の向上を図る。 |
| 2 | 児童が安心感を持って通所できるよう、職員との信頼関係の構築や落ち着いて過ごせる環境づくりに取り組んでおり、子どもたちが楽しく安心して利用できている。 | 児童一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心して過ごせる環境づくりを大切にしている。 職員との関係性が安定することで、児童が楽しみながら通所し、継続して利用できている。 | 児童がより楽しく安心して通所できるよう、日々の関わりや環境設定を継続的に見直す。 児童一人ひとりの気持ちや変化を職員間で共有し、関わり方や支援方法について共通理解を持つことで、支援の質の維持または向上につなげる。 小さな成功体験を積み重ね、「できる」が増える活動内容を工夫し、児童が前向きに通所できる環境づくりに努める。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 小学校等との交流・連携の機会が少ない。 | 小学校等との交流・連携について、十分な取り組みが行えておらず、情報共有や連携体制が不十分である。 小学校等での様子や支援上の配慮事項について、必要な情報交換の機会が限られており、統一した支援につなげられていない。 | 今後は、小学校等との連携の重要性を再認識し、情報共有の機会を段階的に設け、統一した支援につなげる。 保護者の同意を得た上で、小学校等との連絡方法や担当窓口を整理し、支援内容や配慮事項について共有を行う。 また、個別支援計画との整合性を意識しながら、小学校等と事業所双方で児童を支える体制を整え、定期的に連携する機会を設ける。 |
| 2 | ご家族に対してペアレントトレーニングや研修会が実施出来ていない。 | ご家族に対するペアレントトレーニングや研修会について、支援プログラムの提供が優先され、担当者や実施体制が十分に整備されていない。ご家族のニーズや参加しやすい時間帯を踏まえた企画ができていないため、実施に至っていない。 | ご家族のペアレントトレーニングや研修会におけるニーズを把握する。 内容については、支援プログラムと親和性のあるテーマ（家庭での関わり方、行動への対応方法等）を選定する。 実施方法については、短時間・少人数での開催や、資料配布・ミニ研修形式など、保護者が参加しやすい形を検討する。 また、実施後はアンケート等を通じてご家族の意見を把握し、内容の見直しや次回企画に活かすことで、継続的な家族支援につなげる。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスちえのわ

公表日 2025年1月31日

利用児童数 28

回収数 16

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------------------------------|----|---|--------|---------------|-------|-------|-------------------------|---|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 87.5% | 6.3% | 0.0% | 6.3% | | 当事業所では、大阪府の定める基準（3㎡/名）以上の訓練スペースを確保しております。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 75.0% | 12.5% | 0.0% | 12.5% | いつも何人の先生で活動されているかわからない。 | 厚生労働省の定める基準以上の人員を配置しております。また、職員は有資格者（児童指導員や保育士など）を配置しております。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 87.5% | 6.3% | 0.0% | 6.3% | | ご利用者の障がい特性に配慮し、児童一人一人にとって居心地の良い環境を提供できるよう努めてまいります。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 93.8% | 0.0% | 0.0% | 6.3% | | 児童一人一人にとって居心地の良い環境を提供するため、当事業所では5S活動に取り組んでおります。 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 93.8% | 6.3% | 0.0% | 0.0% | | 個々の発達段階や特性、ニーズを職員が共通に理解し安心して過ごせる環境を整えるよう努めています。 |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 93.8% | 6.3% | 0.0% | 0.0% | | 日常の遊びや活動の場面の観察、発達検査の報告などを通じて児童の成長・発達、本人のニーズを把握し、保護者のニーズを含めた支援計画を作成しています。 |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 93.8% | 6.3% | 0.0% | 0.0% | | 当事業所の個別支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」を網羅するよう作成しています。その中からお子さまの発達状況を踏まえたと必要な項目を選択し支援内容に組み込んでいます。 |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 93.8% | 6.3% | 0.0% | 0.0% | | 引き続き、個別支援計画に沿った支援プログラムの提供に努めてまいります。 |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 87.5% | 12.5% | 0.0% | 0.0% | | 引き続き、ご利用者に満足いただけるようプログラムの充実に努めてまいります。 |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 43.8% | 12.5% | 12.5% | 31.3% | | 引き続き、地域の活動などに参加してまいります。 |

| | | | | | | | | |
|--------------------------------------|----|--|--------|-------|------|-------|--|---|
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 93.8% | 6.3% | 0.0% | 0.0% | | 個別支援計画（案）の作成後、児童発達支援管理責任者より支援内容をご説明させていただき、ご了承いただいたものを個別支援支援計画（成案）とさせていただきます。 |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 75.0% | 6.3% | 6.3% | 12.5% | | ご利用者のニーズに応じて今後検討してまいります。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。 | 87.5% | 6.3% | 0.0% | 6.3% | | 当事業所ではご利用者と円滑に情報共有を図るため支援システムや公式LINEを導入しております。引き続き、ご利用者と密接に連携に努めてまいります。 |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 87.5% | 12.5% | 0.0% | 0.0% | | 6ヶ月に一度以上は定期的に面談を行っています。また、より相談しやすい体制整備や周知に努めてまいります。 |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 43.8% | 6.3% | 6.3% | 43.8% | | 年1回以上は保護者参加型の行事に合わせて保護者会を開催しております。 |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 75.0% | 6.3% | 0.0% | 18.8% | | 事業所の窓口担当者を配置しております。引き続き、迅速かつ適切な対応に努めてまいります。 |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 87.5% | 0.0% | 0.0% | 12.5% | | HPIにおいて、活動概要や行事予定、自己評価を公表しております。また、当事業所ではご利用者様と円滑に情報共有ができるよう公式LINEを活用しております。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| 非 常 時 等 の 対 応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 75.0% | 0.0% | 0.0% | 25.0% | | 各種マニュアルを整備し、職員向けに研修を実施しております。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 87.5% | 12.5% | 0.0% | 0.0% | | 地震、台風などの自然災害を想定した避難訓練を定期的に実施しております。 |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 87.5% | 0.0% | 0.0% | 12.5% | | 当事業所では、安全計画を策定し非常時の安全の確保に努めております。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 75.0% | 0.0% | 0.0% | 25.0% | | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際は、事業者より速やかに契約時に指定いただいた緊急連絡先に連絡し、詳細な状況説明に努めます。 |
| 満 足 度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 87.5% | 6.3% | 6.3% | 0.0% | | 引き続き、楽しく安心して通所いただけるよう質の高い支援プログラムの提供に努めてまいります。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

| 事業所名 | | 公表日 2025年1月31日 | | | | |
|---------|----|--|--------|-------|--|--|
| 事業所名 | | 児童発達支援・放課後等デイサービスちえのわ | | | | |
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | 92.3% | 7.7% | | 児童それぞれに必要な支援をしようと思うと職員の人数が少ないと感じる日がある。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 92.3% | 7.7% | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 92.3% | 7.7% | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 100.0% | 0.0% | 目標管理シートを作成している。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 92.3% | 7.7% | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100.0% | 0.0% | 毎月1回以上全体ミーティングを開催し、定期的に個人面談を実施している。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 61.5% | 38.5% | | 外部評価が見当たらない。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 100.0% | 0.0% | オンライン研修システムを導入し、スタッフの経験などに応じて提供する研修内容を変えている。 | |
| 適切な支援 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 92.3% | 7.7% | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 92.3% | 7.7% | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 92.3% | 7.7% | | |

| | | | | | | |
|--|----|--|--------|---------|---|--------------|
| 援 の 提 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 92.3% | 7.7% | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 92.3% | 7.7% | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 92.3% | 7.7% | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 76.9% | 23.1% | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。 | 92.3% | 7.7% | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 92.3% | 7.7% | | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 76.9% | 23.1% | | 学校との連携を深めたい。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 92.3% | 7.7% | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 84.6% | 15.4% | | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 84.6% | 15.4% | | 連携が薄い。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 61.5% | 3850.0% | | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 76.9% | 23.1% | | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 69.2% | 30.8% | 年2回以上、保護者参加型の行事を開催し保護者同士が交流する機会を提供している。 | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 100.0% | 0.0% | | |

| | | | | | | |
|----------|----|--|--------|-------|---|------------|
| 保護者への説明等 | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 76.9% | 23.1% | 年2回以上、保護者参加型の行事を開催し保護者同士が交流する機会を提供している。 | 交流の機会が少ない。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 61.5% | 38.5% | | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 92.3% | 77.0% | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 92.3% | 7.7% | | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 100.0% | 0.0% | | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 84.6% | 15.4% | | |